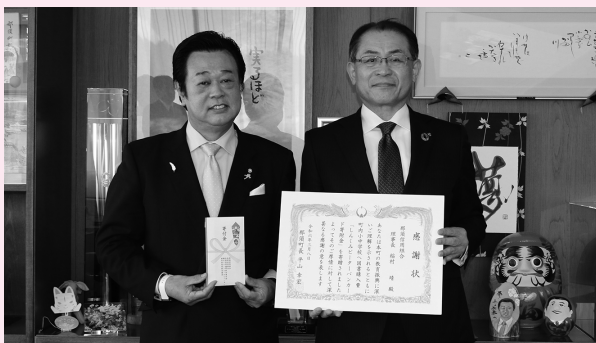


町内小中学校へ 図書購入費として活用



左から、平山町長、稲村理事長

3月8日、那須信用組合様ほか4団体(真岡信用組合様、栃木県信用組合協会様、全国信用協同組合連合会様、(株)オリエンテーション様)から「しんくみピーターパンカード寄付金」をいただきました。町がこの寄付を受けるのは初めてで、那須信用組合稲村靖理事長は「子育て支援に使ってほしい」と話しました。



那須地域の歴史・文化を記した 「記念誌 那須野こぼれ話」

那須野農業協同組合が発行する広報誌で2012年から連載している「那須野こぼれ話」が1冊にまとめられ、歴史や文化を知る貴重な資料として、町内の小中学校等へ420冊寄贈いただきました。

著者である那須文化研究会の木村康夫会長は「農業を母体に、この地で暮らす人々が育み培ってきたくらしが、那須地域の歴史・文化を作ってきた。これからも那須野を見つめ続けて、歴史・文化を次世代に伝えていきたい」と語りました。



左から、伊藤代表理事組合長、平山町長、那須文化研究会の木村会長

第20回 四季の那須フォトコンテスト



2月29日、第20回目となる四季の那須フォトコンテストの表彰式が行われました。全国から集まった476点(150人)の中から入賞作品35点が選ばれ、グランプリには人見厚子さん(那須塩原市)の「幻想への入口」が選ばれました。

人見さんは「写真を撮るとき“物語”を大切にしており、写真を見た方に物語が伝わったと思うと、とてもうれしいです」と喜びを語りました。



地域の宝 アカマツ林を未来へつなぐ

2月29日、高久小学校6年生の14人は、卒業記念としてアカマツの苗木を植樹しました。那須街道アカマツ林再生プロジェクトの一環で、塩那森林管理署から3年間育てた苗木が提供されました。

鈴木陽菜さんと平山楓さんは「苗木が意外と小さかった。この取り組みを全国の人に知ってほしい」「木の根があり掘るのが大変だったが、これからも続けていきたい」とプロジェクトの継続を期待しました。和田校長は「いい経験になった。アカマツ林のような森林は、このように人々が手を入れることによって存続していることがわかったのではないかと児童たちに語りかけました。」



認知症とともに笑顔で生きる

2月28日、那須地区在宅医療・介護連携支援センター運営協議会が主催する講演会が文化センターで開催されました。若年性認知症当事者の丹野智文氏を講師に招き「認知症になってもできることはある。できることを奪わないで」「普通の人と同じように接してほしい」などのご自身の体験や思いを伺い、認知症への理解を深める機会となりました。

